

# 平成16年度予算

## 『第3次総合計画後期基本計画』の

## スタートの年として

総額  
491億  
9704万5千円

平成16年度予算編成では、合併を視野にいれながらも、第3次岡谷市総合計画後期基本計画のスタートの年として、将来都市像「人と自然が共生する健康文化産業都市」の具現化に向けた6本の柱を基調とし、7項目を重点施策（4ページ参照）として予算編成を行いました。会計別では、一般会計が23億1500万円で、前年度当初予算に比べ3億1千万円、1.3%の増。なお、借換債を除いた一般会計の規模は21億4千万円となり対前年度比5.5%の減。特別会計（湊財産区を含む）は、115億4430万円で、前年度比3.0%の減となりました。岡谷病院・塩嶺病院と上下水道の企業会計は、143億3774万5千円で前年度比2.2%の減となり、総額491億9704万5千円となりました。

平成16年度の国の予算は、これまで「改革断行予算」という基本路線を継続し、構造改革を一層推進し、活力ある経済社会と持続的な財政構造の構築を図るため、一般会計歳出および一般歳出については実質的に15年度の水準以下に抑制することを基本としています。

こうした状況の中で、国は三位

一体の改革の手始めとして、国庫補助負担金の1兆円の削減を行うなど、今後の地方財政は厳しい運営を強いられることとなります。

この影響により、16年度の岡谷市の当初予算編成においても、9千万円の所得譲与税は見込まれるものの、地方交付税、臨時財政対策債および国庫補助負担金等、約7億3千万円の削減が見込まれる

ことから、普通建設事業を大幅に削減したほか、財源不足を基金の取り崩しで対応せざるを得ない状況になりました。

こうした極めて厳しい財政状況ではありますが、岡谷市にとつて16年度は、合併を控え、今後の方向性を決める重要な年であるとともに、第3次岡谷市総合計画後期基本計画のスタートの年となること、

## 平成16年度予算一覧

会計名		予算額	前年度比較	増減率
一般会計		233億1,500万円	3億1,000万円	1.3%
特別会計	国民健康保険事業	44億300万円	2億1,400万円	5.1%
	地域開発事業	15億2,750万円	△5億5,040万円	△26.5%
	分収造林事業	2,970万円	△30万円	△1.0%
	交通災害共済事業	4,240万円	△700万円	△14.2%
	霊園事業	1,420万円	△30万円	△2.1%
	老人保健事業	54億5,200万円	△1,100万円	△0.2%
	温泉事業	2,740万円	160万円	6.2%
	訪問看護事業	4,360万円	110万円	2.6%
	計	115億3,980万円	△3億5,230万円	△3.0%
湊財産区一般会計		450万円	△1,070万円	△70.4%
企業会計	岡谷病院事業	50億7,310.6万円	△7,549.3万円	△1.5%
	塩嶺病院事業	43億9,920.2万円	9,169.5万円	2.1%
	水道事業	15億6,175.3万円	8,255.5万円	5.5%
	下水道事業	33億368.4万円	△4億2,713.7万円	△11.4%
	計	143億3,774.5万円	△3億2,838万円	△2.2%
合計		491億9,704.5万円	△3億8,138万円	△0.8%

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額。  
前年度比較の△印は、減額を意味します。

針として、1・中核的機能を担う拠点都市をめざして、2・快適で安全な定住都市をめざして、3・健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市をめざして、4・豊かな心と誇り高い文化を育む生涯学習都市をめざして、5・時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして、6・市民と行政の連携による計画の推進、以上6つの柱を基調として予算の編成を行いました。

予算規模は、一般会計233億1500万円（前年度比13%増）、特別会計（湊財産区を含む）115億4430万円（前年度比3%減）、企業会計143億3774万円（前年度比2.2%減）、総計491億9704万円（前年度比0.8%減）となります。

一般会計の規模としては、総額では増額となりますが、借換債を除くと対前年度比5.5%の減となっています。

16年度予算の重点施策は、①合併の推進、②公共施設の耐震改修の実施、③福祉施設の充実、④産業振興施策の充実、⑤学校施設整備の推進、⑥身近な道路整備の推進、⑦循環型まちづくりの推進、ですが、以上のほか大きな柱でもある芝浦工業大学新学部の誘致推進事業や駅周辺地区活性化推進事業のほか、市民の健康づくり施策等にも積極的に取り組んでいきます。

とから、基本計画の内容を十分に踏まえて、将来を見据えた各施策の立案に努めました。  
また、合併前に実施しておかなければならない事業、新市において実施を検討するもの等の選択にも意を配しました。  
16年度の岡谷市の当初予算は、計画行政を推進するための基本方針

針として、1・中核的機能を担う拠点都市をめざして、2・快適で安全な定住都市をめざして、3・健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市をめざして、4・豊かな心と誇り高い文化を育む生涯学習都市をめざして、5・時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして、6・市民と行政の連携による計画の推進、以上6つの柱を基調として予算の編成を行いました。



す。  
また、13年度から15年度までの3か年の取り組みとして行ってきた「人口増対策」は、依然として人口減少は続いているものの、人口減少数には一定の歯止めがかかったことが伺えたことから成果があったとし、「活力の創出—人口増対策」は終了します。  
しかし、第3次岡谷市総合計画では、将来人口を6万人と見込んでいることから、3年間で行った人口増対策の個々の事業を検証し、見直しをする事業、継続する事業に整理をし、16年度以降も必要な事業については行っていきます。

## 予算の大綱

### 歳入

歳入の主要な一般財源である市税は、前年度より1億9000万円の増と見込みました。

地方交付税は、国から交付されるお金で、使い道が制限されていません。額はその自治体の財政力などにより決められ、前年度より4億円の増。

市債は、建設事業など多額の財源を必要とする場合に一定のルールで借り入れるものと、減税や地方交付税の振替財源として、国の制度に基づいて借り入れるものがあり、前年度より3億4088万円の増。借り入れの返済は、歳出の公債費で計画的に償還が行われます。

諸収入は、ほかの収入科目に含まれない収入をまとめたもので、前年度より3億5466千円の減。

国庫支出金は、土地区画整理事業などの特定の事業に対して、国から補助されるお金で、前年度より1億4370万円の増。

繰入金金は、前年度より4億3800万円の減。

地方消費税交付金は、地方消費税の2分の1が県から市に交付されるお金で、前年度より2千万円の増となっています。

県支出金は、特定の事業に対し県から補助されるお金等で、前年度より5464万3千円の減。

### 歳出

民生費は、福祉作業所・まゆみ園整備事業費の増等のため前年度比19%の増です。

公債費は、元金借換債分の増等のため前年度比68・9%の増です。

土木費は、岡谷駅南土地区画整理事業、東中央通線整備事業の減等のため前年度比14・9%の減です。

商工費は、産学連携高度情報化ネットワーク構築事業の増等のため前年度比12%の増です。

総務費は、諏訪湖ハイツ整備事業費の減等のため前年度比28・3%の減です。

教育費は、小中学校耐震改修事業費の増等のため前年度比34%の増です。

具体的な事業を、6・7ページに基調別にご紹介します。

## 予算編成6つの基調

(第3次岡谷市総合計画の6つの柱)



中核的機能を担う拠点都市をめざして  
(都市基盤整備の推進)

### 平成16年度予算重点施策

- ① 合併の推進
- ② 公共施設の耐震改修の実施
- ③ 福祉施設の充実
- ④ 産業振興施策の充実
- ⑤ 学校施設整備の推進
- ⑥ 身近な道路整備の推進
- ⑦ 循環型まちづくりの推進

豊かな心とかおり高い文化を育む生涯学習都市をめざして  
(教育文化の振興)



快適で安全な定住都市をめざして  
(生活環境整備の推進)

時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして  
(産業の振興)



健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市をめざして  
(健康福祉の推進)

市民と行政の連携による計画の推進 (財源の重点的、効率的配分、一般行政経費の抑制、健全財政の保持)

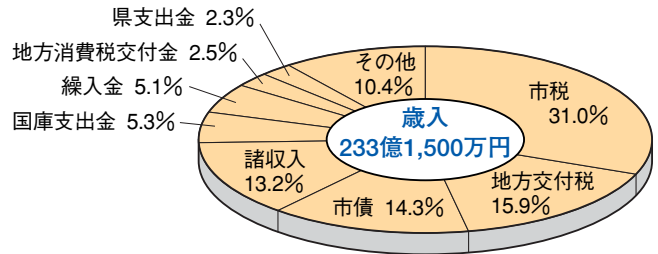
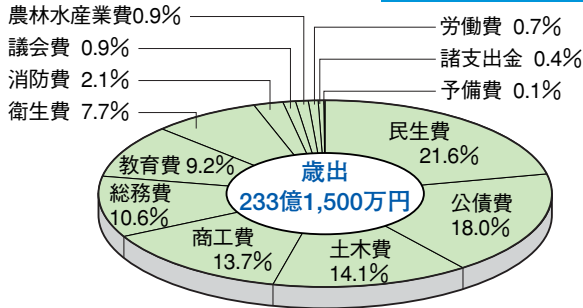




# 一般会計

## 歳出

## 歳入



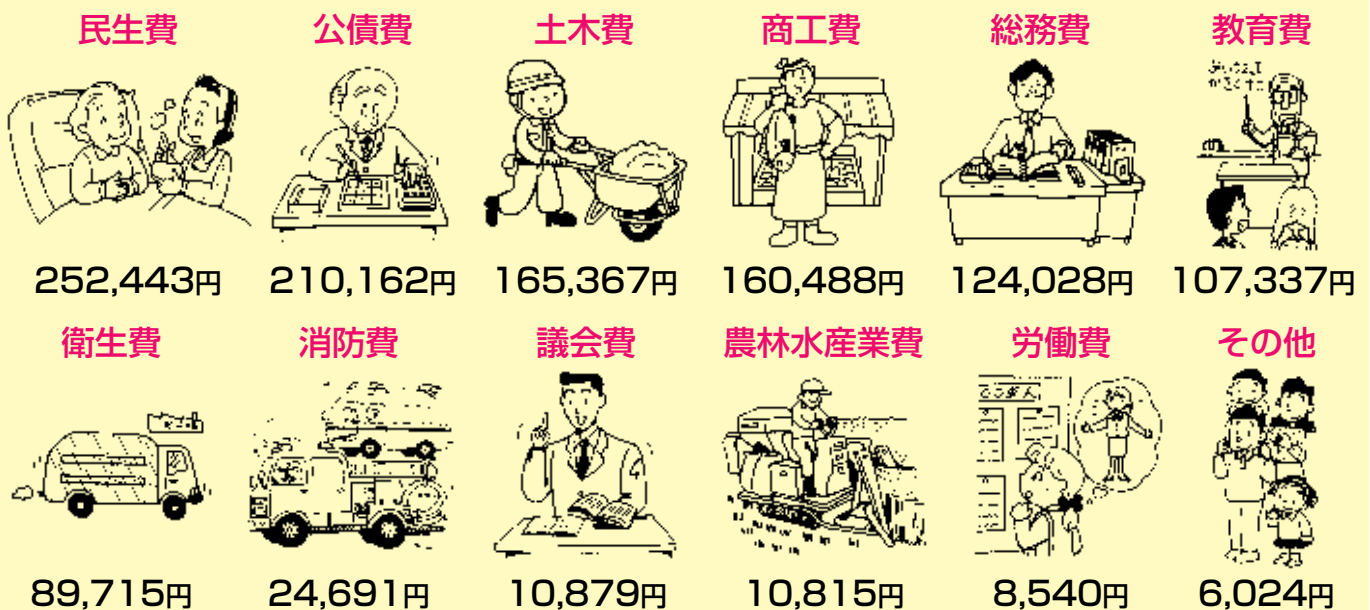
区分	予算額	構成比	前年度比
民生費	50億2,841.5万円	21.6%	1.9%
公債費	41億8,622.5万円	18.0%	68.9%
土木費	32億9,395.2万円	14.1%	△14.9%
商工費	31億9,675.9万円	13.7%	1.2%
総務費	24億7,052.0万円	10.6%	△28.3%
教育費	21億3,804.8万円	9.2%	3.4%
衛生費	17億8,703.5万円	7.7%	2.8%
消防費	4億9,181.2万円	2.1%	△4.7%
議会費	2億1,669.0万円	0.9%	△5.5%
農林水産業費	2億1,543.1万円	0.9%	△0.8%
労働費	1億7,011.3万円	0.7%	△25.5%
諸支出金	1億円	0.4%	0.0%
予備費	2,000万円	0.1%	0.0%
合計	233億1,500万円	100%	1.3%

区分	予算額	構成比	前年度比
市税	72億4,100.0万円	31.0%	1.5%
地方交付税	37億0,000.0万円	15.9%	12.1%
市債	33億3,758.0万円	14.3%	11.4%
諸収入	30億7,525.4万円	13.2%	△9.0%
国庫支出金	12億4,318.5万円	5.3%	13.1%
繰入金	11億9,400.0万円	5.1%	△26.8%
地方消費税交付金	5億9,000.0万円	2.5%	3.5%
県支出金	5億2,921.1万円	2.3%	△9.4%
その他	24億0,477.0万円	10.4%	4.1%
合計	233億1,500万円	100%	1.3%

※その他には、分担金および負担金、使用料および手数料などが含まれています。

## ◆市民1世帯当たりで使われるお金

合計 1,170,490円 (参考：市税1世帯当たり 363,522円)



= 平成16年2月1日現在の世帯数 19,919世帯で計算 =

# 平成16年度予算6つの基調（主な事務事業）

▷印は継続事業 ●印は新規事業 ◻印は重点施策（※1万円未満は四捨五入してあります）

## 1 中核的機能を担う拠点都市をめざして

- ▷**大学誘致推進事業** 63万円  
芝浦工業大学新学部の誘致に向け引き続き積極的に取り組めます。
- ▷**岡谷駅南土地区画整理事業** 3億5,247万円  
引き続き家屋移転、造成工事を実施します。
- ▷**湖畔若宮土地区画整理事業** 7,520万円  
地元合意を踏まえて、事業計画決定を目指して取り組みを進めます。
- ▷**岡谷湖畔公園整備事業** 1億5,894万円
- ▷**シルキーバス運行事業補助金** 2,891万円



新しくなった丸山橋

## 2 快適で安全な定住都市をめざして

- 公共施設の耐震改修の実施** 1億5,121万円  
東海地震の地震防災対策強化地域指定に伴い、15年度に実施した耐震診断の結果に基づき、学校、病院、市営住宅等の耐震補強の設計や工事を計画的に実施します。
- 自主防災組織育成事業** 27万円
- 合併処理浄化槽設置整備事業補助金** 800万円
- ▷**住宅用太陽光発電システム設置補助金** 1,200万円
- ▷**住宅用雨水貯留施設設置補助金** 100万円
- 廃蛍光管リサイクル事業** 680万円  
循環型まちづくりの推進として、「廃蛍光管」を完全リサイクルし、循環型社会の形成を目指します。



- 生ごみリサイクル事業** 257万円  
生ごみの減量化と堆肥などの再資源化を促進するため、小中学校の生ごみリサイクル事業を実施します。

- 資源物サンデーリサイクルデー事業** 16万円
- ▷**新道路整備5か年計画事業** 5億5,790万円  
第3次道路整備5か年計画に引き続き、16年度を初年度とする第4次道路整備5か年計画に取り組み、身近な生活道路の整備を推進します。



身近な生活道路の整備

- ▷**都市計画道路 東町線（2期）事業** 2億876万円
- 市民参加による公園管理事業** 100万円
- ▷**田中線市営住宅建設事業** 2億613万円
- 民間賃貸住宅家賃補助事業** 10万円
- ▷**住宅建設等促進補助事業** 1,000万円
- 救急高度化推進事業** 229万円
- ▷**消防水利整備事業** 2,800万円
- ▷**水道事業建設改良事業** 4億9,012万円
- ▷**公共下水道整備事業** 5億円

## 3 健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市をめざして

- ▷**地域サポートセンター設置促進事業** 500万円
- 障害者ケアマネジメント事業** 80万円
- 福祉作業所・まゆみ園整備事業** 1億6,600万円  
現在地での全面建て替えを行います。
- ▷**介護老人福祉施設建設整備事業補助金** 7,190万円  
介護保険事業計画に基づき、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）を整備する社会福祉法人に助成を行います。

- 介護保険居宅サービス等基盤整備事業補助金** 1,530万円  
介護保険事業計画の需要に対し、供給体制を整備する社会福祉法人に助成を行います。
- ▷**成年後見制度広報啓発等事業** 73万円
- 温泉リハビリ訓練教室事業** 481万円
- 痴呆予防教室事業** 24万円

（7ページに続く）

(6ページからの続き)

- (仮称)湊保育園建設事業 3億7,700万円  
桃園・観音保育園統合による新たな保育園を、湊小学校南側に整備します。



(仮称) 湊保育園完成予想図

- 私立保育園建設補助事業 1,371万円
- 保育園整備事業 3,900万円
  - ▷延長保育事業 3,347万円
  - ▷3歳以上の第3子以降保育料を無料化 4,750万円
  - ▷岡谷病院医療機械器具整備事業 7,750万円
- 岡谷病院 病院機能評価取得事業 948万円
- ▷塩嶺病院医療機械器具整備事業 1億円
- 病院基本構想策定事業 300万円

## 4 豊かな心とかおり高い文化を育む生涯学習都市をめざして

- 小中学校耐震改修事業 1億3,711万円  
耐震診断結果により緊急度の高い施設から計画的に行うこととし、16年度は、小井川小学校教室棟、東部中学校第1体育館の耐震補強工事を実施するほか、小井川小学校西体育館、長地小学校特別教室棟の耐震補強設計および北部中学校南校舎の建て替えに向けた基本設計、実施設計を行います。



耐震改修を行う小井川業学校教室棟

- 小学校低学年用プール建設事業 4,050万円  
低学年の児童が水を怖がらずに水泳を行える専用プールを計画的に整備することとし、16年度は長地小学校および神明小学校への整備を行います。
- 学童クラブ施設整備事業 1,073万円
  - ▷男女共同参画推進事業 112万円
- 旧山一林組製糸事務所整備事業 2,930万円
- 岡谷市誌資料収集整理事業 227万円
- 図書館冷房整備事業 850万円
- 市営庭球場全天候型コート化改修事業 1,900万円
- (仮称)「緑と湖のまち」ふれあいフェスタ事業 2,580万円
  - ▷国際交流員受入事業委託料 573万円

## 5 時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして

- ▷岡谷市商工業振興条例助成補助金(対象範囲の拡大) 3,150万円  
工場等の新設に対して一定の建設補助を行っています。対象範囲を拡大し一定規模以上の増築にも建設の補助を行い、企業支援の充実を図ります。
- 高度情報ネットワーク構築事業 1,865万円  
産学連携を支援することにより、先端技術に基づいた付加価値の高い製品や技術を創造するため、芝浦工業大学、信州大学などとテクノプラザや市内企業との間に、インターネットを活用した新たなTV会議システムを構築します。
- CAD・CAM導入支援補助金 300万円  
市内企業が3次元CAD・CAMシステムを導入する経

- 費の一部を補助し、市内企業の体質改善と競争力の強化支援を行います。
- 若年人材育成講座奨励補助金 30万円  
若手従業員の技術力アップを図るための各種研修を受けさせる企業に対して、それに係る経費の一部を補助します。
- U,I,Jターン会社説明会支援事業 132万円
- 中心市街地交通量調査事業 70万円
- クリーン畜産環境推進事業補助金 200万円
  - ▷農道水路整備事業 1,300万円
- 農業振興地域合併処理浄化槽補助金 800万円
- ▷有害鳥獣駆除事業 150万円

## 6 市民と行政の連携による計画の推進

- ▷合併推進事業 125万円  
合併推進に向けて取り組みます。
- ▷行政評価システム導入事業 596万円  
効果的な行政運営を目指して、事務事業評価システムの導入を実施します。